

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	津久井湖城山公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・サカタのタネ グリーンサービスグループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所津久井治水センター）

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）			
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 団体等の総合的な運営方針として、「安全で快適な利用空間の平等な提供」「より高い公益性の発揮」「効率的・効果的かつ持続可能な管理運営」に取り組む。	提案された運営方針に基づき施設を運営した。 ・来園者へのサービス向上や地域との連携、安全面の向上を意欲的に行った。	提案のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続することが望まれる。	○		
						公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として、「『しろやまオープンミュージアム』と『快適な湖畔の憩いの空間』」を掲げ、「ゾーンごとの特性を活かした利用の活性化」「幅広い利用者への自然と歴史の学習機会の提供」「地域との連携による地域活性化への貢献」に取り組む。	新型コロナウイルスの感染症対策を実施しながら、ボランティアと連携し、畑や花壇の整備、管理を行ったほか、自然や歴史イベントプログラムの開催、市民参加による発掘調査などを実施した。 また、地元関係団体と協力し、津久井湖さくらまつりやつくだい湖湖上祭など大規模なイベントを実施し、公園の利用促進、地域活性化に貢献した。	提案のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続することが望まれる。 ・ガイドラインに沿った新型コロナウイルスの感染症対策を適切に実施されていた。 ・歴史と城山の体験ゾーンでは引き続き多様な利用者ニーズにこたえるプログラムを展開されることを期待する。	○		
						利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「平等な利用の確保」「利用者や地域住民等の意見を反映した公園づくりの推進」「環境に配慮した管理運営」に取り組む。	提案された運営方針に基づき施設を運営した。 ・利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営を行った。	提案のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続することが望まれる。 ・整備・管理運営連絡会を開催し、地域住民等の意見を管理に反映させていることは評価できる。	○		
						業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方）	○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は委託することとし、県内企業への発注を優先する。	植物管理や日常清掃等を中心とし、現地を熟知した職員が直営で作業を実施した。また、施設の法令点検や法定清掃、専門技術等を要する管理、修繕等の業務については、地元または県内企業に委託して適切に実施した。	提案のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続することが望まれる。 ・引き続き、専門家の意見やパークプロデューサーの意見を反映した公園の管理運営に期待する。	○		○ 月例報告 点検業務報告書等
	(2)	施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	8	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 「自然と歴史の保全と利用のバランスに配慮した維持管理」「適正な樹林管理による利用者の安全確保と樹林地の保全」「花・水・芝生による観光地らしい魅力的な景観の創出」「老木化・高木化が課題となっている桜の保全・育成」「安全確保と長寿化に配慮した施設管理」「地域との協働による維持管理」に取り組む。	水の苑地、花の苑地、根小屋地区、津久井城址・城山地区の各エリアごとの特色や課題を理解し、適切に維持管理を実施した。 また、被害が拡大しているナラ枯れについて、調査範囲を広げて被害状況の把握に努めた。	提案のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続することが望まれる。 ・登山道の巡視回数を増やし、倒木や落枝を未然に防ぐよう、引き続き、しっかりとしたパトロールの実施を期待する。	○		
						施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 毎朝、園内巡視により施設点検を行い、点検報告を取りまとめ、安全措置が必要なものについては即刻対応するなど、日々の園内点検を徹底し、来園者の安全確保に努める。また、修繕結果は公園管理データベースシステムに履歴として蓄積し、今後の維持管理へ反映する。	日常点検により発見された不具合、危険箇所等については、速やかに立入禁止措置を講じた上で、修繕等を速やかに実施した。	提案のとおり概ね適切に運営されており、今後も日常点検を適切に行い、未然の事故防止を継続することが望まれる。	○		○ 月例報告
						清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ こまめに清掃を行うとともに、全職員が気づいたゴミは拾うなど、清潔感の保持に努める。 ○ 職員全員が、「笑顔」、「挨拶」、「身だしなみ」を大切にし、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客をする。 ○ 夜間や年末年始の職員不在時には、機械警備により、建物不法侵入者や火災の監視にあたる。	概ね事業計画のとおり実施した。 トイレ等の清潔さなど利用者の目につきやすい箇所に関する苦情はなく、快適な利用環境の保持に努めた。 職員及び委託警備員による巡回等を確実に実施するとともに、事故等への対応、来園者のケガ、体調不良などの際には、所轄警察署や救急への連絡などを適切かつ迅速に対応し、県への報告も速やかに行われていた。	提案のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続することが望まれる。 ・利用者サービス向上や安心安全に寄与する取組を、引き続き、継続することを期待する。	○	○	○ 月例報告
	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	9	樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 自然環境や歴史遺構の保全と、利用のバランスに配慮した維持管理（動植物分布調査等においてGPSで位置情報を活用等）、適正な樹林管理による利用者の安全確保と樹林地の保全（樹林更新計画の作成等）、花・水・芝生による観光地らしい魅力的な景観の創出、琴堂桜の育成など桜の保全などに取り組む。	樹林地の適正な管理を進めるため、樹林更新計画を作成していく予定としており、専門家に雑木林の管理方法などの意見を聴くなど、作成に向けた準備を進めた。 また、水の苑地、花の苑地では、サカタのタネグリーンサービスの技術を活かし、花壇などの充実を図った。	事業計画の内容のとおり実施されている。 花修景の充実を図るため、構成グループ間やボランティアとの連携により、今後も継続、拡充していくことが望まれる。	○	○	○ 月例報告 聞き取り
						公園の特性や利用状況（繁忙期・閑散期等）、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等（有料施設は除く）	○ ターゲット層を明確にした歴史や自然の学習機会の提供を行うとともに、展示やセルフガイドシステムによる学習環境の整備・強化、里山の暮らし体験、地域と連携し、繁忙期、閑散期にも応じた四季折々のイベントの開催、サイクリスト向けサービスの充実強化などに取り組む。	大型イベントが天候に恵まれなかった等の影響により、前年よりも利用者数は伸びなかったが、歴史や自然に関する体験型プログラムを子ども、親子、一般、上級者の対象別に開催し、数多くの学習機会を提供した。 また、パークセンターにおける情報発信として、植物の見どころを毎日の公園情報として展示したり、園内に掲示されたQRコードを読み込むことで、津久井城に関するより詳細な解説が見られるような仕組みを進めるなど、セルフガイドシステムの内容の充実を図った。	自然と歴史に関して、初めての方からリピーターの方まで、様々な利用者が学び楽しめる場として、工夫、改善を行っており、今後も引き続き取組を継続、充実してほしい。 ・天候に恵まれず、利用者数が伸びなかったイベントの代わりに、自然に関する体験型プログラムの開催回数を増やすなど、引き続き、イベントの充実を期待したい。	○	○	○ 月例報告

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(3) 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	9	有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○ 津久井湖観光センター等の売店の無いエリアに、利用者サービスの向上や夏期の熱中症対策のため、自動販売機を設置する。	事業計画のとおり実施した。 ・売店の無いエリアに自動販売機を設置し、利用者サービスの向上に努めた。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・災害支援ベンダー、キャッシュレス対応等の自動販売機の設定が実施された。	○	○	○	月例報告
					多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	○ より多くの方を誘致するため、Webを含む各種媒体の活用や、関連施設との連携による広域的な情報発信、地域利用の更なる促進に向けた情報発信等、様々な手法による積極的な広報・PRを行う。	公園だよりを発行しイベント予定などを来園者に周知しているほか、ホームページ、Twitter、動画配信を通じて、各種イベント情報、園内の見どころなどの情報を適時に発信した。	Twitterフォロワー数なども年々増加してきており、イベント時などに呼びかけを行うなど、情報発信ツールの更なる充実を図ってほしい。	○		○	月例報告 広報媒体等
					公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	○ 利用者のサービス向上を図るため、ケータリングカーによる利用者への飲食の提供、バーベキュー場の運営、管理事務所等での物販等を自主事業として行う。	バーベキュー事業、管理事務所等での物販等に加え、眺望が美しい3箇所に100円で見ることができ望遠鏡を設置した。	計画を前倒しして望遠鏡の設置、運営を行った。今後利用者の声を聴きながら他の眺望ポイントに増設を検討することが望まれる。	○	○	○	月例報告
					利用料金の設定、減免の考え方（有料施設がある場合のみ）	○ 自動販売機の料金設定については、民間も含めた同様の施設も考慮した上で、公の施設として相応の額を設定する。	事業計画のとおり実施した。 ・自動販売機の料金設定については、民間も含めた同様の施設も考慮した上で、公の施設として相応の額を設定した。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	月例報告
	利用者対応・サービス向上の取組	5	4	接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○ 子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安心・安全・快適に公園を利用していただけよう、スタッフ全員が、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客をする。	コミュニケーションボード、公園パンフレット、救急セット、ゴミ袋、施設の利用案内などを入れたおもてなしバッグを全職員が携帯し、サービス向上に努めた。 また、パークセンターのすべての内勤職員が、来園者からの要望に応じて、展示解説や公園内の自然・歴史情報の提供を行えるよう教育を行った。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、職員が展示解説や公園内の自然・歴史情報の提供を行えるよう教育体制を整えるなど、利用者へのサービス向上を期待する。	○				
				サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○ 公園を利用されている利用者のみならず、これから公園を利用する可能性のある潜在的利用者を含め、「①ニーズや苦情を的確に把握」「②分析」のうえ、「③運営を改善」することで、「④利用者満足度の向上、新規利用者の獲得」を図る。	年2回の利用者アンケートや、日々の苦情、要望等で寄せられた内容について検証し、対応できるものはなるべく早期に管理運営に活かすよう努めた。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	月例報告	
				外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○ 外国の方への多言語での対応に取り組むほか、「ともに生きる社会かながわ憲章」の趣旨を踏まえ、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。	ホームページの4ヶ国語対応、ピクトグラムによる案内、点字パンフレットの作成に向けた準備作業を進めた。	引き続き、多言語化や障がい者の利用環境等について、発展させていくことが望まれる。	○				
				神奈川県手話言語条例への対応	○ コミュニケーションボードの活用や筆談や大きな声で対応する用意ができて示す「耳マーク」をパークセンターに掲示する。	手話講習会を受講した職員による対応や、コミュニケーションボード等による窓口案内ができるような環境を整えた。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○				
	(4) 事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容	○ 津久井城址・城山地区の急峻な登山道での転倒、滑落、遭難の危険性等の想定されるリスクを事前に管理し、リスクの発生による損失を回避し、不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、リスク抽出、分析・対策立案、実行、再評価により事故の未然防止を図る。	登山道の巡視を月2回以上実施し、登山道沿いの落枝や倒木の危険性がある樹木や、落石や滑落の危険のある箇所をチェックし、必要に応じて現地に注意喚起の案内表示や、枝落としや径路補修などの対策を実施して事故の未然防止に努めた。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、倒木や落枝による公園の事故の未然防止に繋げることを期待する。	○		○	月例報告
					樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方	○ 本公園は、全体的に樹木の巨木化が進んでおり、こうした状況を踏まえ、日常の巡視において、園路沿いや広場付近など、来園者の安全確保が重要な箇所を中心に、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、必要に応じ、伐採や病虫害防除等を速やかに行う。また、台風シーズンの前には、集中的な点検を行い、災害の未然防止に努める。	巡視によってナラ枯れなどによる枯損木や枯れ枝を発見した際には、利用者に被害が生じないように処置し、伐採については、県と協議しながら出来る限り早く対応した。	ナラ枯れに関する調査結果を樹木にわかりやすく表示したことについて、維持管理に役立てることができたほか、来園者のナラ枯れ被害の理解の一助となる取組みであった。	○		○	調査票
					事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事業を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）	○ 事故・不祥事等の発生時には、人命を最優先として「クライシスマネジメント」の考え方を取り入れ、被害の最小化、二次被害防止、速やかな報告・情報共有、復旧等事後対応、再発防止対策まで確実な業務フローにより対応する。	事故発生時には、職員が現場で傷病者の応急処置を行い、必要に応じて救急を要請する等の初期対応を徹底した。また、事故後は再発防止会議を設置し、原因究明及び再発防止策の検討を行い、結果を公園職員に共有して、以降の管理業務に活かした。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、事故発生時に適切に対応できるよう、普段から備えておくことを期待する。	○		○	月例報告
					急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等	○ 園内で急病人やけが人が生じた場合には、「安全管理マニュアル」に従い迅速に対応する。職員が病人の状況を把握した上で、病院や消防に連絡するほか、必要に応じて心肺蘇生やAEDの利用などの応急措置を施す。	園内で急病人やけが人が発生したとの通報があった際には、状況を即時に把握し、応急処置や救急の要請などを速やかに行い、適切に対応した。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、事故の際に適切に対応を行うことを期待する。	○		○	月例報告
新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針	○ 新型コロナウイルスへの対応については、「施設の管理・運営における対策徹底による利用者の感染防止」はもとより、「利用者や周辺住民の理解促進」「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場としての公園の管理運営を行う。	作成したガイドラインに基づき、職員の感染防止対策や感染防止を徹底するための各施設の管理などを適切に行った。 また、開催したイベントについては、必要な感染防止対策を行い、参加者への感染対策の周知徹底を図った。	提案内容のとおり実施されており、新型コロナウイルスの感染が収束するまでの間は、継続していくことが望まれる。	○	○	○	月例報告 イベント企画書					



評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)					
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他			
I サービスの向上	(4)	事故防止等安全管理	災害への対応 (事前、発生時)	5	4	異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。	概ね事業計画のとおり実施した。 ・グループ代表が作成した災害対策活動指針のほか、台風接近時のタイムラインを作成、共有し、事前に備える体制を築いている。	適切に安全管理がなされており、今後も継続して、異常気象に備える体制を共有することが望ましい。	○				
						公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応	○ 大規模地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」やグループ代表が整理したタイムライン等に沿って、迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園勤務の有無に関わらず、グループ代表本部や公園近くに居住する職員が参集することで、発生後30分以内を目標に参集したスタッフによる初動対応を図る。	概ね事業計画のとおり実施した。 ・グループ代表本部職員や公園近くに居住する職員が公園に参集する訓練を年度内に1回実施した。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、地震発生時に適切に対応できるよう、訓練などを継続することを期待する。	○				
						大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）	○ 土砂災害警戒区域に指定されている場所もあることから、巡視の際に土砂災害の危険の予兆であるクラック等の把握や、利用者が近づかないような措置などの対応に努める。 ○ 大規模災害発生時の一時避難場所である本公園から、広域避難場所や避難所への誘導方法、帰宅困難者の受け入れ態勢について、事前に相模原市及び近隣施設と調整するなど協力体制を確立するとともに、利用者や地域と防災訓練を実施するなどして連携を深める。	消防署、地元自治会及び関係団体なども参加して、年2回防災訓練を実施し、初期対応や防災備蓄品の確認、利用者の避難誘導、消火訓練、AED講習を行った。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、大規模災害時に適切に対応できるよう、訓練を継続することを期待する。	○			○	聞き取り
	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	5	4	多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	○ 学識経験者や地元自治会、行政機関等からなる「県立津久井湖城山公園整備と管理・運営に関する連絡会」を年2回開催し、地域と連携しながら公園づくりに取り組むとともに、地元の商工会や観光協会、当園ボランティア等と様々な連携・協力に取組、公園及び周辺地域の活性化に貢献する。	学識経験者等からなる連絡会において、事務局を努めるとともに、管理運営に関する課題整理や改善報告等を行った。 また、地元関係団体と協力し、津久井湖さくらまつりやつくい湖湖上祭など大小様々なイベントを実施し、公園の利用促進、地域活性化に貢献した。 なお、11月に実施予定であった宝ヶ峰の里まつりは、雨天のため中止となった。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・連絡会において、議論された内容が管理運営に適切に反映されることを期待する。	○	○	○	月例報告	
						ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	○ 動植物の調査・保護、畑や花壇作りなど様々な分野のボランティアがSKT（助っ人）として活動しており、これらの活動をより一層促進するため、年に3回「ボランティア通信」を発行するとともに研修会の開催などを行い、ボランティアが長くいきいきと活躍できる場を作る。	ボランティアと連携し、畑や花壇の整備、管理を行ったほか、自然や歴史イベントプログラムの開催、市民参加による発掘調査などを実施した。	ボランティアとともに、当公園の特色である歴史と自然を活かした様々な活動の場を提供、支援しており、今後も継続していくことが望まれる。	○			○	月例報告
						周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○ 津久井湖協会等と連携し、城山ダムを含めた津久井・城山地域の歴史や自然を学べる「校外学習プログラム」の作成、ダム（企業庁）と連携した「ダム見学会」の実施や台風後の津久井湖沿岸の清掃など、周辺施設との連携を図る。	公園と城山ダムを組合せた校外学習プログラムの作成に向け、津久井湖協会と調整を進め、津久井湖記念館の活用や案内方法の調整などを進めた。 また、水の苑地に隣接する箇所湖岸付近の清掃、除草を津久井湖協会や地域住民と一緒に実施した。	公園と城山ダムを組合せた学習プログラムは、地域の歴史を総合的に学習するきっかけを提供する有意義な取組みであり、実施に向け調整を継続していくことが望まれる。	○			○	月例報告 聞き取り
						地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○ 業務委託を行う場合には、今後も地域企業等への発注を優先的に行う。さらに、地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、地元非営利団体とも継続的に業務委託することにより地域連携を図る。	業務委託については、専門的な知識、技術を必要とする業務については、園内の施設等を熟知した地域企業等へ発注するとともに、シルバーセンターや社会福祉法人等に継続的に除草、清掃作業等を委託し、地域雇用や障がい者の自立を支援している。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、地域と連携した取組を期待する。	○			○	月例報告
	III 団体の業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	コンプライアンス、社会貢献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	文書管理規程や個人情報保護などの諸規定を整備し、それらを遵守するとともに、施設の維持管理にあたっては、各設備に係る法定点検等の内容などについて、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深めた。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、法令順守しながら取組を継続することを期待する。	○			
指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況							○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	環境負荷軽減や循環型社会の実現を目指す取組みとして、再生エネルギーの活用や、アイドリングストップの呼びかけ、間伐等による発生材の再利用、グリーン購入などを実施した。 また、自然環境保全の取組みとして、メリケントキンソウ等の外来種の防除などを行ったほか、環境学習の場として、ボランティア等による自然観察会、大学等と連携した環境教育を実施した。	提案内容のとおり実施されており、今後も継続していくことが望まれる。 ・引き続き、環境に配慮した取組を継続することを期待する。	○			○	月例報告

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
Ⅲ 団体の 業務遂 行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢 献	コンプライア ンス、社会貢 献	5	4	法定雇用率の達成状況等、障害者 雇用促進の考え方と実績	○ 障害者雇用状況については、全ての構成法人が 法定雇用率を達成している。	事業計画のとおり実施した。 ・障害者雇用率の達成基準に相当している。	提案内容のとおり実施されており、今後も継 続していくことが望まれる。	○			
						障害者差別解消法に基づく合理的 配慮など、「ともに生きる社会か ながわ憲章」の主旨を踏まえた取 組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会か ながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供 や広報啓発・研修等に取り組む。	バリアフリーマップや点字パンフレット作成に向け た準備、筆談など環境を整えるなど、障がいの状況 に応じた対応ができるよう取組みを進めている。	引き続き提案内容の実施に向け、取組みを進 めていくことが望まれる。	○			
						神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境 を確保するために、意思疎通、情報取得のための重 要な手段である手話を使いやすい環境づくりに努め る。	手話講習会を受講した職員による対応や、コミュニ ケーションボード等による窓口案内のほか、ホーム ページ、メール、SNSによる問合せ手段を用意して いる。	提案内容のとおり実施されており、今後も継 続していくことが望まれる。 ・引き続き、障がいの安心安全な利用環境 の確保に努めることを期待する。	○			
						社会貢献活動等、CSRの考え方 と実績、SDGs（持続可能な開 発目標）への取組	以下について、取り組む。 ・植生調査等を踏まえた樹林地更新計画による生物 多様性保全と災害への備え ・園内の歴史・自然について、様々な利用者層を対 象とした講習会や観察会、イベント等のプログラム で専門知識をもつスタッフが学びの場を提供 ・園内で不要となった間伐材等の植物廃棄物を必要 な方に提供 など	グループ企業の理念に基づき、自然環境の保全、 様々な活動を通じた歴史・自然に関する学びの場 提供、資源再利用の取組みなど、事業運営を通じ、 社会貢献に資する活動を行っている。	提案内容のとおり適切に運営しており、引き 続き継続されることが望まれる。	○			
	(7)	事故・不祥事への対応、個人 情報保護	事故・不祥事 への対応、個人 情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3 年間の重大な事故または不祥事の 有無ならびに重大な事故等があっ た場合の対応状況及び再発防止策 構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	当該年度に重大な事故や不祥事はなく、適切に業務 を実施している。	提案内容のとおり適切に運営しており、引き 続き、重大な事故や不祥事を起こさないよ う、適切な取組が継続されることが望まれ る。	○			
						個人情報保護についての方針・体制 、職員に対する教育・研修体制 及び個人情報の取扱いの状況	○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者 等の個人情報を適切に管理することが必要不可欠で あるとの認識のもと、「個人情報保護方針」を公表 し、諸規程の整備や職員に対する研修の実施によ り、個人情報の適正な保護に取り組む。	策定、公表されている個人情報保護方針及び取扱い のガイドラインに基づき、個人情報の管理責任を明 確し、個人情報保護に取り組んでいる。	提案内容のとおり実施されており、今後も継 続していくことが望まれる。 ・引き続き、個人情報の適切かつ確実な管理 を期待する。	○		○	指針等

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。



選定基準別提案内容と事業実績の確認  
(施設写真)

施設名	津久井湖城山公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・サカタのタネ グリーンサービスグループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所津久井治水センター）

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載



水の苑地と城山



根小屋地区の遊具



花の苑地の花壇



根小屋地区の周遊園路